

補助事業番号 23-4-016

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災地域の記録、調査活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 全国美術デザイン教育振興会（ADEC）

1. 補助事業の概要

（1）事業の目的

被災地をはじめ、全国の高校生の思いをこめたイラスト・デザイン作品を被災地仙台にて展示することによって、未来への力と精神的活力を被災者の方々に受け止めていただくエールとする。未曾有の災害に直面した思いや、苦難から立ち上がっていく過程における精神的記録を表現した作品を募集し、仙台市内の「エル・パーク仙台」にて特別展示を開催。また、仙台展会場においてワークショップを催し、被災地の方々の復興に向けた活力に繋げる。さらにイベントに参加いただいた被災地三県の出品者には、審査員も務めたグラフィックデザイナーによる作者本人に対しての講評、カウンセリングを行うことでポジティブシンキングを促す。

仙台展以外でも全国主要都市で巡回展示をすることによって、被災地への励ましのベクトルを高めることを目指す。

（2）実施内容

第24回全日本高校デザイン・イラスト展 仙台特別展

開催期間：平成23年12月5日（月）～8日（木）

実施会場：エル・パーク仙台 ギャラリーホール

主催：特定非営利活動法人 全国美術デザイン教育振興会（ADEC）

財団法人 専修学校教育振興会（現・一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団）

主幹：全日本高校デザイン・イラスト展実行委員会

後援：文部科学省、経済産業省、宮城県、全国高等学校長協会、
日本私立中学高等学校連合会、公益社団法人全国高等学校文化連盟
全国専修学校各種学校総連合会

協力：仙台コミュニケーション・アート専門学校、全日本画材協議会



◇支援イラスト併設展示

全日本高校デザイン・イラスト展とは別に、被災者の方々への思いを込めたイラストをはがきサイズにて幅広く募集を呼びかけた。その結果幅広い年代・階層の方々より多くの作品が集まり、仙台特別展会場にて併設展示した。



◇展覧会開催期間内実施イベント

展覧会開催期間中の平成23年12月7日、仙台特別展会場内にて各種イベントを実施した。地元宮城県を中心に、高校生や専門学校生、大学生等の若年層を中心とした多数の参加があった。

①全国賞・東日本地区賞東北地方受賞者特別表彰式



②復支援物資目録贈呈

表彰式に続いて、美術やデザインに係る画材・教材等支援物資（段ボール箱で約100箱あまり集積）の目録を宮城県に贈呈。宮城県高校美術展委員会を通じての配布を委託した。



③ワークショップ

イラスト、キャラクターデザイン、グラフィックデザイン等の創作する事の面白さを体験してもらい、癒しの一助としていただくためのワークショップ（イベント）を実施した。

講師：U.G. サトー氏（グラフィックデザイナー）

原田 純一氏（日本グラフィックデザイナー協会 会員）

佐々木弘子氏（高等学校教員）

他



2. 今後の取り組み

当初ワークショップは子供から大人までの方々を対象として実施したが、参加者の中心的な年齢は高校生であった。観客の中には父母の方々も多く見えたが、高校、大学、専門学校等の若い年齢層が積極的に参加してくれたためか、ワークショップに参加し制作するまでに

は至らなかつた。しかし作られたものを見て、笑い、喜ぶ姿が会場各所にて散見でき、メンタルケアの効果が出てくるものと期待している。また、地域での活動に対し高校を中心に広がりを見せつつあることは実感し、今後の教育機関の協力もさらに期待できる感触を得た。

3. 本事業により作成した印刷物等

- 封筒) ○作品出品の依頼書類 ○作品募集要項 ○作品募集用ポスター
- 仙台特別展用ポスター ○全国入選名簿(リーフレット) ○表彰状



<仙台特別展ポスター>

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 全国美術デザイン教育振興会（トクテイヒエイリカツドウ
ハウジン ゼンコクビジュツデザインキョウイクシンコウカイ）

住所： 162-0821

東京都新宿区津久戸町4-7 0Sビル301

代表者： 理事長 鳩山 太郎（ハトヤマ マタロウ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 事務局長 伊東 啓一（イトウ ケイイチ）

電話番号：03-6265-0514

F A X：03-5261-0234

E-mail：info-a@adec.gr.jp

URL：<http://www.adec.gr.jp/>